



紀の川直轄改修100周年

100年分の思いをのせて いこらよ紀の川

# VIS manual

視覚表現システムマニュアル  
Visual Identity System Manual

Ver. 2

## [ シンボルマーク ]



## &lt;コンセプト&gt;

紀の川の頭文字である「紀」と100周年の「100」を組み合わせたマークです。水のしずくやうねりをイメージした抑揚のある曲線で描きました。

このマークには、紀の川直轄改修 100 周年のスローガンである「100年分の思いをのせていこらよ紀の川」に沿って、「協力」や「未来」といった意味を込めています。「紀」の「己」を上にはね上げることで、前向きで勢いのある姿勢を表現しています。「100」の「00」が繋がっているのは、紀の川を取り巻く人々の協力の輪が繋がっている様子を表しています。また、「00」は「∞(無限大)」の形にもなっており、これからの100年や、さらにそれより先の未来の可能性を表しています。

[ロゴタイプ基本形 横]

ロゴとして使用する場合はアウトライン化されたデータをご活用下さい。

# 紀の川直轄改修 100 周年

100 年分の思いをのせて いこらよ紀の川

## 紀の川直轄改修 100 周年

<タイトル>  
游教科書体 横用 Bold を  
使用します。

100 年分の思いをのせて いこらよ紀の川

<スローガン>  
DFP 教科書体 W3 を使  
用します。

[ロゴタイプ基本形 3 段]

※スローガンを 2 段にすることも可能です。

紀の川  
直轄改修  
100 周年

100 年分の思いをのせて いこらよ紀の川

紀の川  
直轄改修  
100 周年

100 年分の思いをのせて  
いこらよ紀の川

[ ロゴタイプ基本形 縦 ]

ロゴとして使用する場合はアウトライン化されたデータをご活用下さい。

紀の川直轄改修100周年  
100年分の思いをのせて  
いこらよ紀の川

紀の川直轄改修100周年

100年分の思いをのせて  
いこらよ紀の川

<タイトル>  
游教科書体 Bold を使用  
します。

<スローガン>  
DFP 教科書体 W3 を使  
用します。

## [ ロゴマーク基本形 (Type-A) ]

マークの文字の配置は、Type-A（マークが上、文字が下）を主たる基本形とします。

シンボルマーク、ロゴタイプそれぞれの変形、拡大縮小はできません。



紀の川直轄改修100周年

100年分の思いをのせて いこらよ紀の川

## &lt;タイトル+スローガン&gt;

## &lt;タイトルのみ&gt;



紀の川直轄改修100周年



紀の川  
直轄改修  
100周年

100年分の思いをのせて いこらよ紀の川

## &lt;タイトル3段&gt;

※スローガンが2段のものも使用可能です。

## [ ロゴマーク基本形 (Type-B) ]

表示する領域が横長の場合は Type-B を使用できます。  
シンボルマークとロゴタイプの配置を逆転することはできません。マークと文字それぞれの変形、拡大縮小はできません。

## &lt; タイトル + スローガン &gt;



# 紀の川直轄改修 100 周年

100 年分の思いをのせて いこらよ紀の川

## &lt; タイトルのみ 1 &gt;



# 紀の川直轄改修 100 周年

## &lt; タイトルのみ 2 &gt;



# 紀の川直轄改修 100 周年

## [ ロゴマーク基本形 (Type-C) ]

表示する領域が縦長の場合は Type-C を使用できません。  
シンボルマークとロゴタイプの配置を逆転することはできません。マークと文字それぞれの変形、拡大縮小はできません。

&lt;タイトル+スローガン 1&gt;

&lt;タイトルのみ&gt;

&lt;タイトル+スローガン 2&gt;

100年分の思いをのせて  
いこらよ紀の川

紀の川直轄改修100周年



紀の川直轄改修100周年



100年分の思いをのせて  
いこらよ紀の川

紀の川直轄改修100周年



## [年表記入り]

各ロゴマーク基本形には、「since 1923」の表記を加えることができます。



紀の川直轄改修 100 周年

100 年分の思いをのせて いこらよ紀の川

since 1923



紀の川直轄改修 100 周年

since 1923



紀の川直轄改修 100 周年

100 年分の思いをのせて いこらよ紀の川

since 1923



紀の川直轄改修 100 周年

since 1923

100 年分の思いをのせて いこらよ紀の川

紀の川直轄改修 100 周年



since 1923

紀の川直轄改修 100 周年



since 1923

## [ シンボルカラー ]

&lt;メインカラー&gt; 紀の川グラデーション



メインカラーとして「紀の川グラデーション」を規定します。「紀の川ライトブルー」から「紀の川ブルー」へのグラデーションです。

背景やグラフィックエレメントとして用いる場合は、グラデーションの方向は問いません。ただし、シンボルマークに用いる場合はグラデーションは縦方向で、上部が紀の川ライトブルー、下部が紀の川ブルーとします。

## &lt;単色シンボルカラー&gt;



紀の川ライトブルー

CMYK : C 100.0% M 0% Y 20.0% K 0%

DIC178

RGB : R 0 G 160 B 202

単色シンボルカラーとして「紀の川ライトブルー」を規定します。

上記の数値が基本となりますが、印刷の方法や紙の種類、プリンタやモニタの状態により、発色が異なる可能性があります。仕上がりの色が大日本インキの色見本「DIC178」に近似になるように調整して下さい。

また、調色できない場合は「紀の川ライトブルー」に近似な色を選択するようにして下さい。



紀の川ブルー

CMYK : C 100.0% M 63.0% Y 5.0% K 0%

DIC220

RGB : R 0 G 88 B 164

単色シンボルカラーとして「紀の川ブルー」を規定します。

上記の数値が基本となりますが、印刷の方法や紙の種類、プリンタやモニタの状態により、発色が異なる可能性があります。仕上がりの色が大日本インキの色見本「DIC220」に近似になるように調整して下さい。

また、調色できない場合は「紀の川ブルー」に近似な色を選択するようにして下さい。

[ 単色表現 紀の川ライトブルー ]



## 紀の川直轄改修 100 周年

100 年分の思いをのせて いこらよ紀の川

## 紀の川直轄改修 100 周年

100 年分の思いをのせて いこらよ紀の川

100 年分の思いをのせて  
いこらよ紀の川  
紀の川直轄改修 100 周年

紀の川直轄改修 100 周年

100 年分の思いをのせて  
いこらよ紀の川

# 紀の川 直轄改修 100 周年

100 年分の思いをのせて いこらよ紀の川

[ 単色表現 紀の川ブルー ]



## 紀の川直轄改修 100 周年

100 年分の思いをのせて いこらよ紀の川

## 紀の川直轄改修 100 周年

100 年分の思いをのせて いこらよ紀の川

100 年分の思いをのせて  
いこらよ紀の川  
紀の川直轄改修 100 周年

紀の川直轄改修 100 周年

100 年分の思いをのせて  
いこらよ紀の川

# 紀の川 直轄改修 100 周年

100 年分の思いをのせて いこらよ紀の川

[ 単色表現 紀の川ブルー ]



## 紀の川直轄改修 100 周年

100 年分の思いをのせて いこらよ紀の川

## 紀の川直轄改修 100 周年

100 年分の思いをのせて いこらよ紀の川

100 年分の思いをのせて  
いこらよ紀の川  
紀の川直轄改修 100 周年

紀の川直轄改修 100 周年

100 年分の思いをのせて  
いこらよ紀の川

# 紀の川 直轄改修 100 周年

100 年分の思いをのせて いこらよ紀の川

[白抜き] 背景が紀の川グラデーション、紀の川ライトブルー、紀の川ブルー、黒に対してシンボルマーク、タイトル、スローガンを白抜きで表現することができます。



## 紀の川直轄改修 100 周年

100 年分の思いをのせて いこらよ紀の川

## 紀の川直轄改修 100 周年

100 年分の思いをのせて いこらよ紀の川

100 年分の思いをのせて  
いこらよ紀の川  
紀の川直轄改修 100 周年

紀の川直轄改修 100 周年

100 年分の思いをのせて  
いこらよ紀の川

# 紀の川 直轄改修 100 周年

100 年分の思いをのせて いこらよ紀の川

## [ 使用禁止例 ]

下記の使用禁止例を参考に、誤解・誤認を受けやすい表現、アイデンティティの混乱を招きやすい表現、視認性の低くなる表現については禁止とします。

これらは識別標的に使用される場合に関してであり、それ以外のケースで図形要素として取り扱われる場合においては規定の範囲ではありません。ただし、この場合においてもアイデンティティ構築の弊害になる表現、美しさや品位を損なう表現に用いてはいけません。



## &lt; 形の変形・加工 &gt;

ロゴマークの縦横の比率を変える。



## &lt; 形の変形・加工 &gt;

ロゴマークを全体的もしくは部分的に変形する。



## &lt; 形の変形・加工 &gt;

ロゴマークにアウトラインを加えるなどの加工をする。



## &lt; 形の変形・加工 &gt;

ロゴマークに規定外の要素を加える。



## &lt; 形の変形・加工 &gt;

文字の規定外の配置。



## &lt; 形の変形・加工 &gt;

ロゴマークに規定外の書体を用いる。



## &lt; カラーの変更 &gt;

ロゴマークに規定外の色を使用する。



## &lt; 視認性の確保 &gt;

細部の表現が難しい網掛け表現。



## &lt; 視認性の確保 &gt;

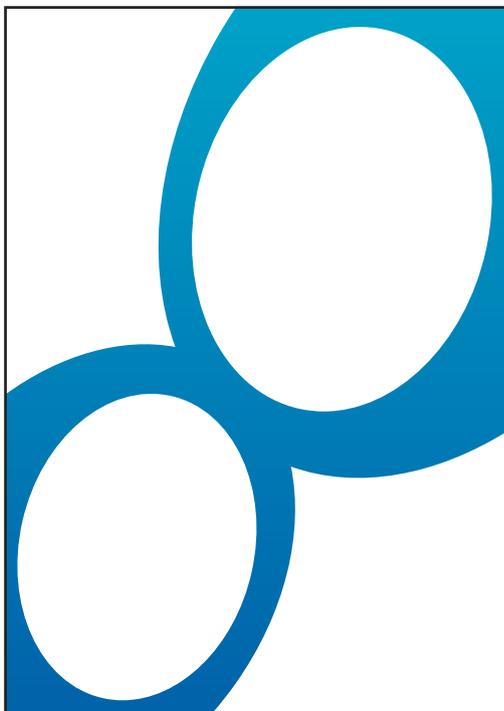
マーク及びロゴの周辺に十分に余白を取り、視認性を確保すること。

## [ グラフィックエレメント ]

グラフィックエレメントは、アプリケーションデザイン（ベーシックデザインの応用）において図形的要素として使用されるものです。

シンボルマークとして使用される場合は、前述の使用マニュアルに基づいて、均質性と視認性が確保される必要がありますが、グラフィックエレメントとして図的に使用される場合は、マークの部分についてのみ加工・修正を可能とします（文字部分は不可）。

このマニュアルの表紙や各ページのヘッダやページ数の部分に応用例として使用されています。



縦横のグラデーションをグラフィックエレメントとして様々な部分に用いることができます。

マークを部分的に表示することができます。

[ のぼり旗 ] B:600mm H:1800mm



[ 垂れ幕 ] B:900mm H:6000mm



[ 横断幕 ] B:6000mm H:900mm

